

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた課題と取組の状況

【特徴(強み)】

1. コンパクトを活かし、官民共同の顔の見える連携体制が構築されている
2. モデル的な取り組みが波及しやすい
3. 精神障害者の地域移行に特化したピアサポーターが養成されている

課題	課題に解決に向けた取組状況		取組の成果
地域包括ケアシステム構築に向けて、要綱を現状に即したものとすることが必要がある	地域包括ケアシステム構築に向けて、包括的に事業が進められるよう今年度中に要綱を改正する		R1年度内に要綱改正を予定
山梨県として、地域包括ケアシステム構築のために、目指すべき姿が不透明	改めて協議の場などの現状を整理し、会議、協議会等の役割、課題の整理、地域の実情の把握。県、圏域、市町村がきちんと連動できる県としての体制を構築する		<ul style="list-style-type: none"> ・包括ケアシステム構築のために機能する体制を作る ・退院しやすい地域体制の構築への協力し、地域における医療機関の役割について検討する ・退院しやすい地域体制の構築への協力地域課題抽出
課題解決の達成度を測る指標	現状値 (現時点)※	目標値 (令和元年度末)	達成状況の見込み(評価)
① ●●●			
②			
③			

※現時点の値が分かれば記入して下さい。分からない場合は、年度当初の値で構いません。

●指標設定が困難な場合は、代替指標や定性的な文言でも構いません。